

大雪山国立公園 登山案内



1997

大雪山国立公園連絡協議会

環境局自然保護課 西北海道地区国立公園・野生物事務所

北海道上川支厅 岩見市三条通107丁目 林務省自然保護課 TEL0166-26-1211 FAX0166-26-4309

十勝支厅 帯広市第三条37丁目 林務省自然保護課 TEL0155-24-3111 FAX0155-25-4164

富良野市 生牛町1-1 観光事業課 TEL0167-39-3212 FAX0167-29-2123

上川町 上川市上町南180 商工観光課 TEL0165-2-1211 FAX0165-2-1220

東川町 上川郡東川町東町1-16-1 商工観光課 TEL0166-82-2111 FAX0166-82-3844

美瑛町 上川郡美瑛町本町4-6-1 商工観光課 TEL0166-92-1111 FAX0166-92-4414

上富良野町 空知郡上富良野町大町2-2-1 商工観光課 TEL0167-45-3121 FAX0167-45-5362

南富良野町 空知郡上富良野町字幾原 商工観光課 TEL0167-52-2922

士幌町 河東郡士幌町字士幌225 商工労働観光課 TEL01564-5-2211 FAX01564-5-4304

上士幌町 河東郡上士幌町東3-238 商工観光課 TEL01564-2-2111 FAX01564-2-4637

鹿追町 河東郡鹿追町町1-15 商工観光課 TEL01566-6-2311 FAX01566-6-1020

新得町 上川郡新得町3条南4 商工観光課 TEL01566-4-5111 FAX01566-4-4013

（事務局）
環境局自然保護課 大雪山国立公園管理官事務所
上川郡管理官事務所 上川郡上川町本町4番地 TEL01658-2-2574 FAX01658-2-2681

上川郡管理官事務所 上川郡上川町東町1-13-15 TEL0166-82-2527 FAX0166-82-2527

上士幌管理官事務所 東川郡上士幌町字士幌247-8 TEL01564-2-3337 FAX01564-2-3337

熊(ヒグマ)



*食肉目・クマ科・ヒグマ属・エゾヒグマ

北海道に生息するクマは、エゾヒグマであり、一般には単にヒグマと呼ばれています。現在世界には7種類のクマが生息していますが、ヒグマはホッキョクグマの次に身体が大型のクマで、体長約2m、体重200~300kgにも成長し、本州のツキノワグマよりも大型です。

ヒグマの生態

人とヒグマ

本州から来る観光客は、道内の山歩きで、ヒグマが最も恐いと感じる人が多いですが、主に植物を探食する性質をもつていて、人に対する危険性は低いです。しかし、北海道の山の忍辱(しき)はヒグマではあります。山の渓流や雪渓等の若木を採る際に食する。春の渓流とともに、タケノコ(シマザサ)、フキ、ヤマドリ、エゾカクンバ(ヌメリ)を食べ、チシニンジンやシラサギなどの根茎も好んで、よく食べます。冬の山野には、ヒグマの足跡が残ります。ヒグマは冬眠で、冬眠の山野は、北アルプス上高地の上、横断谷あたりにみられるシラビノ林に相当するものである。

●雪には、夏と冬しかない
5月、黒岳や旭岳、十勝岳山腹で、スキーワークが開始される。山はまだ冬である。6月、雪融けはじめているが、降雪もめずらしくない。山頂はまだ雪に覆われている。

7月にはいるとき、融雪は早くなる。山中をさがすと、やつて雪山らしい顔になる。雪の消えた斜面には高山植物の群落があお花畠をつくりだす。道も、雪の手からあらわれる。しかし、最低気温が氷点下を割ることはめらかではない。

夜に早く朝、夕方、日中でも雨の日は人間遭遇する機会の少ないことを知っているので、行動を止める。

●冬には、雪に覆われる山地で、雪崩警戒などはしないこと

ヒグマは、人間の食べる物などを近づけてくるので、ヒグマにとっても人間は強くて危ない敵である。普段ヒグマは、冬でも人間を襲うことはほとんどない。しかし、ヒグマは冬眠でこの強敵を見ると、人間が気がつく前に出会えないくらいに避ける行動をとるといいます。

●冬ごもり
秋の季節をいなべといふ、といふようよ分量を多く消費して、ヒグマは冬眠に入る。穴は前年使ったものか、新しいもので、大きさは、ヒグマが冬眠する程度、中は青苔や枯葉が散らばっている。

ヒグマは、翌年の4月積雪までの冬眠の期間中、飲まず食わずで、秋に蓄積した脂肪を消費しながら眠る。しかし、冬眠中の冬眠は、体温を下げるため冬眠の度合で、時々起きてしまう。

春、穴を開けて、ヒグマで開拓したところを、すっかりやせ細ってしまった熊が、隣に登るほど、驚いたことがあります。

●4人以上熊

ヒグマは、人間を襲うと逃げようとするが、仔熊は人間に警戒心を持たないので、一緒にいるときは、このため人間との距離が必ず以上に近くなると母熊は焦り焦りからくわらせる。しかし、母熊は、子供を守るために走ることもある。

ヒグマは、冬眠の冬眠によって死ぬことが多いので、冬眠の冬眠は、命が長いといふべきである。

●ヒグマの行動
ヒグマの行動は探査・移動徘徊・休憩などで、育子中の母熊は常にこれで育子がいる。ヒグマはこのような行動を人の物語があるように「育子の育子」である。しかし、ヒグマは、冬眠の冬眠によって死ぬことが多いので、冬眠の冬眠は、命が長いといふべきである。

●ヒグマの行動
ヒグマの行動は探査・移動徘徊・休憩などで、育子中の母熊は常にこれで育子がいる。ヒグマはこのような行動を人の物語があるように「育子の育子」である。しかし、ヒグマは、冬眠の冬眠によって死ぬことが多いので、冬眠の冬眠は、命が長いといふべきである。

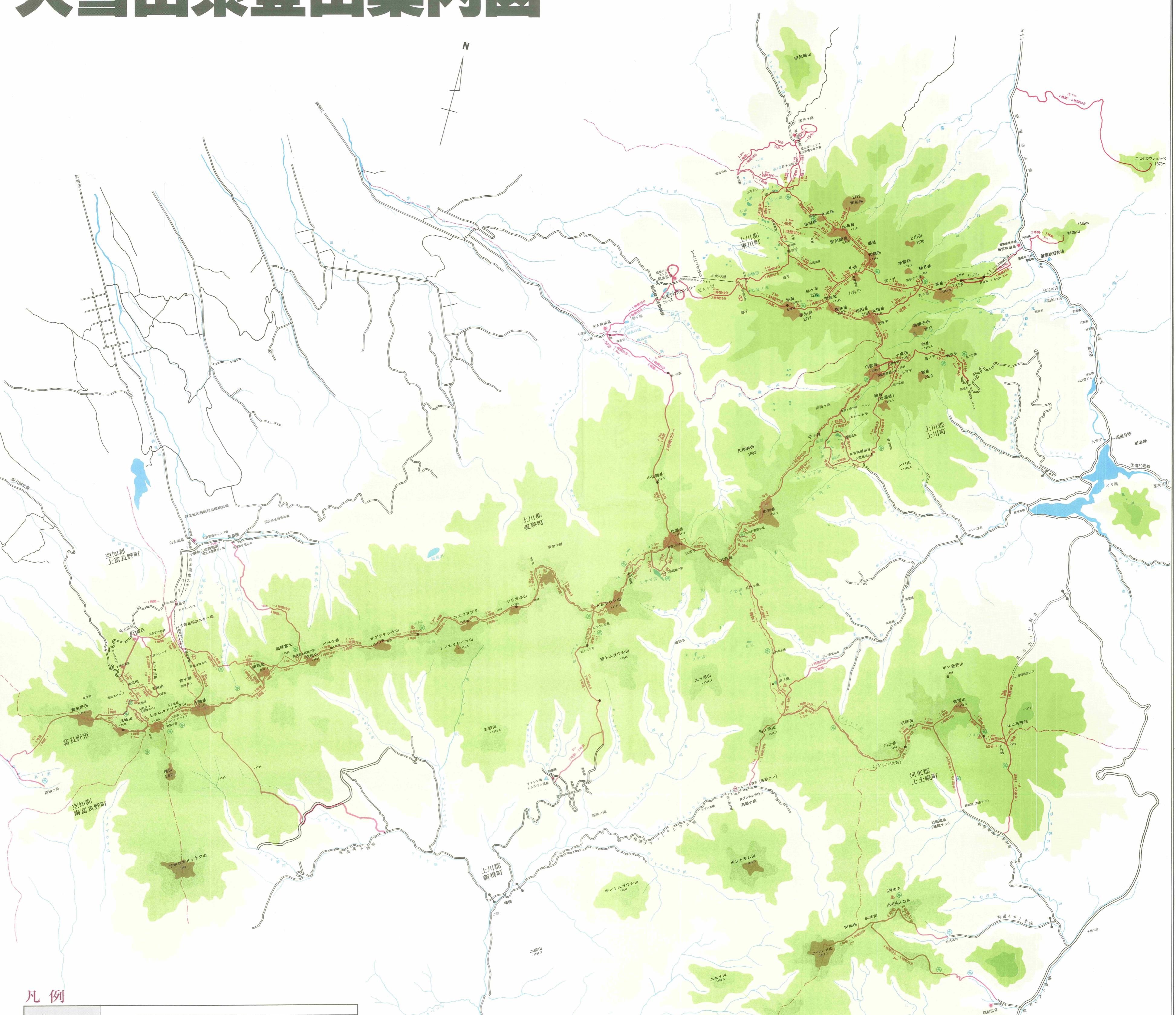
●ヒグマの行動
ヒグマの行動は探査・移動徘徊・休憩などで、育子中の母熊は常にこれで育子がいる。ヒグマはこのような行動を人の物語があるように「育子の育子」である。しかし、ヒグマは、冬眠の冬眠によって死ぬことが多いので、冬眠の冬眠は、命が長いといふべきである。

●ヒグマの行動
ヒグマの行動は探査・移動徘徊・休憩などで、育子中の母熊は常にこれで育子がいる。ヒグマはこのような行動を人の物語があるように「育子の育子」である。しかし、ヒグマは、冬眠の冬眠によって死ぬことが多いので、冬眠の冬眠は、命が長いといふべきである。

●ヒグマの行動
ヒグマの行動は探査・移動徘徊・休憩などで、育子中の母熊は常にこれで育子がいる。ヒグマはこのような行動を人の物語があるように「育子の育子」である。しかし、ヒグマは、冬眠の冬眠によって死ぬが多いので、冬眠の冬眠は、命が長いといふべきである。

●ヒグマの行動
ヒグマの行動は探査・移動徘徊・休憩などで、育子中の母熊は常にこれで育子がいる。ヒグマはこのような行動を人の物語

大雪山系登山案内図



凡例

	車道
	登山道 (●分岐点又は行程上の目標)
	沢川
	水場 (登山口附近の沢水以外は雪渓の融水のため年にによって7月末に無くなる場合がある。)
	温泉地等 (宿泊施設有り。)
	林道ゲート (車に入る場合當林署の許可を要す。)
	所要時間及び距離数 (所要時間は無雪期好天時で初心者を標準とした。)

避難小屋(山小屋) ▲

名 称	位 置	人 員	管 理 者	備 考
十勝岳避難小屋	十勝岳北西2.5km	30人	美瑛営林署	水無し
美瑛富士	美瑛富士東1.0km	20人	//	
忠別岳	忠別岳南1.5km	40人	上川支庁林務課	
白雲岳	白雲岳南1.0km	60人	//	
旭岳石室	姿見の池畔	20人	//	
黒岳山小屋	黒岳西南0.8km	150人	層雲峠観光協会 有料 ☎0166万-3325(夏期)	
上ホロカメットク小屋	上ホロカメットク0.4km	30人	上川支庁林務課	
ヒサゴ沼避難小屋	ヒサゴ沼畔	30人	十勝支庁林務課	
士幌小屋(チセフレップ)	東ヌブカウシ山東2.6km	30人	士幌町	有料
ヌブントムラウシ避難小屋	ヌブントムラウシ温泉	30人	新得町	

野営指定地 ▲

名 称	位 置
上ホロカメットク	上ホロカメットク山南下
美瑛富士	美瑛富士避難小屋横
双子沼	オブタシケ山北東1.5km
ヒサゴ沼	ヒサゴ沼畔
忠別岳	忠別岳避難小屋横
沼の原大沼	沼の原大沼畔
白雲岳	白雲岳避難小屋横
裏 旭	旭岳東下1.0km
黒 岳	黒岳山小屋横
ブヨ沢	ユニ石狩・音更の鞍部
小天狗のコル	小天狗岳のコル
トムラウン南沼	トムラウン山南下

キャンプ場 ▲

- 旭川一層雲峠／バス1時間50分
- 上川一層雲峠／バス32分
- 層雲峠一銀泉台（夏期のみ）車で40分間
- 層雲峠一高原温泉（夏期のみ）車で40分間
- 上川一愛山溪／車で50分（夏期）
- 旭川一旭岳温泉／バス1時間40分
- 旭川一天人峡／バス1時間
- 美瑛一白金温泉／バス40分
- 旭川一白金温泉／バス1時間20分
- 上富良野一十勝岳温泉／バス50分
- 新得一トムラウン温泉／バス1時間50分
- 稚平一幌加温泉入口／バス20分
- 稚平一十勝三股／バス30分
- 帯広一然別湖畔／バス1時間55分
- 新得一トムラウン温泉／車で1時間45分
- 杉沢出合一十勝三股／車で15分

★旭川電気軌道株式会社 0166-32-2161
★道北バス株式会社 0166-23-4161
★北海道拓殖バス株式会社 0155-31-8811

比 布	愛 别	上 川	
旭 川	当 麻	大 雪 山	上 支 満 別
美 瑛	志 比 内	旭 岳	石 狩 岳
富 良 野	十 胜 岳	十 胜 川 上 流	糠 平
山 部	西 連 布	佐 槻 岳	然 别 湖
石 狩 金 山	落 合	新 得	中 士 岡

※この登山案内(概要図)は、国土地理院発行の1:50,000の地形図を参考に作成しましたので、登山に当っては、必要な1:50,000の地形図をご用意下さい。